

2020年度 法科大学院

第3期入学試験問題

3時限

刑法

(論文式)

試験時間 50分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[刑法]

問 以下の設問に解答しなさい。

事例

Vは、2019年年6月8日、同人の甥Aになりすました者に、仕事の関係で現金を至急必要としていると嘘を言われ、これを軽率に信じて、Aの勤務する会社の系列社員になりすました者に、現金100万円をだまし取られていた。

上記の事件を仲間から聞いたXは、この事件に乗じ、自らが警察官になりすまし、V(当時69歳)から、再度、現金をだまし取ろうと考えた。

そこで、Xは、Vにあらかじめ預金口座から現金を払い戻させておいた上で、Vから同現金の交付を受ける計画を立てた。そして、同月9日午前10時頃、V方に電話をかけ、「昨日、駅前で、不審な男を捕まえたんですが、その犯人が被害者としてVの名前を言っています。」「昨日、詐欺の被害に遭われたということはないですか。」「口座にはまだどのくらいの金額がありますか。」「念のため、銀行に今すぐ行って全部下ろしておいたほうがいいですよ。」「それから、前日、被害にあった100万円を取り返すことができるかもしれませんから協力してほしいのですが。」「僕が向かいますから。」「今日の2時前には到着できるよう、僕の方で態勢整えますので。」などと嘘を言った。

Vは、電話の相手が警察官であり、その指示には従う必要があると信じ、言われたまま、午前11時頃、銀行に出向き、Vは預金口座から預金の払戻しをし、昼頃、自宅に持ち帰った。

その後、同日の午後2時少し前、警察官になりすましたXが、Vから現金の交付を受けようとV方に向かった。しかし、Xは、午後1時頃、Aと電話して事情を話したことから、詐欺を疑ったAが警察に通報した。そのため、Xは、V方付近でVに接触しようとする前に、連絡を受け警戒中の警察官Bに発見され逮捕された。逮捕される際、Xは、逮捕されまいと抵抗する最中、Bを殴って軽傷を負わせた。

設問

Xの罪責を検討しなさい。その際、解答者が支持する見解を、対立する見解も踏まえて論じなさい(論述に際しては、論点1,2は必ず考慮に入れること。)

論点1 詐欺罪の構成要件と詐欺罪の故意について、簡単に説明しなさい。

論点2 構成要件に該当しなければ犯罪(未遂犯を含む)が成立しないという見解と構成要件に該当しなくとも犯罪が成立することがあるという見解があることを踏まえ、それぞれの立場から自説の根拠と他説の問題点を指摘しなさい。